

2012年8月28日

武内園子

下記の通り東日本大震災復興支援コンサートを開催したく、ご支援をお願い申し上げます。

記

コンサート名 : ヴァチェスラフ・グリャズノフ「復興を祈るコンサート」

日時: 2012年7月29日(日)

1回目11:00~11:40 2回目12:30~13:10

場所: 宮城県石巻市中里2-1-3

会場: サンリツ楽器石巻店 レッスルーム

目的: ◎東日本大震災被災地の楽器店で「仙台国際音楽コンクール」入賞者のコンサートを開催することにより、音楽を学んでいる子供たちに(音楽の)素晴らしさや感動を直接伝え、夢を持ってもらいたい。

◎震災被害の記憶が薄れつつある東北以外に在住するアーティストにまだ復興されていない石巻の状況を見て頂きたい。

内容: ピアノコンサート

参加者: ピアノ学習者や指導者、地元の方々

入場者数: 約40名ずつの2回公演

演奏者: ヴァチェスラフ・グリャズノフ(第3回仙台国際音楽コンクール入賞者、くらしき作陽大学特任講師)

演奏曲目: 牧神の午後への前奏曲(ドビュッシー) スペイン狂詩曲(リスト) 他

《演奏者からのメッセージ》東日本大震災の犠牲となられた方々を偲んで、そして震災のもたらしたあらゆる困難に耐えながら、復興に向かって力を合わせ前進されているみなさんおひとりおひとりにこの演奏会を捧げます。

ヴァチェスラフ・グリャズノフ

《ご支援希望経費》

交通費(往復): 倉敷 ⇄ 仙台 48,820円

合計 : 48,820円

* 宿泊はホームステイ、会場使用料は無料(サンリツ楽器石巻店)

* 仙台⇄石巻交通費は主催者負担

* プログラム等印刷代金は主催者負担

* ピアノ調律代は主催者負担

ヴァチェスラフ・グリャズノフ「復興を祈るコンサート」実行委員会 / ピティナ仙台おりひめステーション

代表 武内 園子



コンサートの様子



《8月4日 河北新報夕刊「河北抄」より》

2007年の第3回仙台国際音楽コンクールで入賞したロシア人ピアニスト、ヴァチェスラフ・グリャフさん(30)のチャリティーコンサートが先日、仙台市内と石巻市であった。

「東日本大震災の映像をモスクワで見ました。友人、知人のことが心配でなりませんでした」。震災から1年5カ月を経て、念願の仙台再訪がかなった。

ドビュッシー「牧神の午後への前奏曲」、チャイコフスキー「ロメオとジュリエット」など7曲が、グリャズノフさんの編曲で表情を変えた。鎮魂の祈りがホールに満ちた。

「芸術は人間の喜び、悲しみに寄り添うもの。音楽には人を励まし、慰める力があります」とグリャズノフさんは言う。

人間は心で通じ合えると、ピアノが教えてくれた。

震災の津波でショールームにあった商品がすべて水没し2000万円を超える深刻な被害に経営が危ぶまれたサンリツ楽器石巻店。



事務所内の机や棚、書類やパソコン等、倒れ込みに津波の被害